



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 コカ・コーライーストジャパン株式会社 上場取引所 東名
 (三国コカ・コーラボトリング株式会社分)
 コード番号 2580 (旧コード番号 2572) URL http://www.ccej.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) カリン・ドラガン
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務経理 (氏名) 青山 朝子 (TEL) 03-5443-8077
 統括部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 平成25年9月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績 (平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	56,002	△1.2	643	2.6	774	65.7	449	304.9
24年12月期第2四半期	56,671	4.2	627	△57.3	467	△43.6	111	△63.9

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 640百万円(287.6%) 24年12月期第2四半期 165百万円(△40.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	9.32	—
24年12月期第2四半期	2.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	81,236	65,967	81.2
24年12月期	81,033	65,907	81.3

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 65,967百万円 24年12月期 65,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	12.00	—	12.00	24.00
25年12月期	—	15.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年12月期第2四半期末配当金の内訳 記念配当 3円00銭

※当社は、平成25年7月1日を効力発生日として、コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社、東京コカ・コーラ ボトリング株式会社、利根コカ・コーラボトリング株式会社との間で株式交換および新設分割を併用することにより経営統合を行っておりますので、期末配当予想については記載しておりません。

3. 平成25年12月期の連結業績予想 (平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年12月期2Q	53,555,732株	24年12月期	53,555,732株
25年12月期2Q	5,271,309株	24年12月期	5,270,966株
25年12月期2Q	48,284,609株	24年12月期2Q	48,285,013株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) その他の注記情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の長期戦略により大幅に金融が緩和された結果、株価が上昇し、また、為替が円安となったことにより輸出関連企業の業績が改善するなど、国内経済は着実に回復してまいりました。一方で、海外景気の下振れが国内景気の押し下げリスクとなっており、依然として景気の不透明感が残る結果となりました。

清涼飲料業界におきましては、ここ数年高成長を続けてきた炭酸飲料が引き続き順調に伸びており、また比較的天候に恵まれたこともあり、飲料市場全体で前年販売数量を3%程度上回る着地となりました。しかし、市場の低価格化による企業間の販売競争は依然として厳しく、利益を圧迫する状況が続いております。

このような状況の中当社は、各種プロモーションやキャンペーンを展開した結果、ブランドにおいては、コカ・コーラ ゼロ、綾鷹、アクエリアス、い・ろ・は・す等を伸長させることが出来ました。また新たな容量のパッケージを積極展開することで、潜在ニーズの開拓や新規需要の掘り起こしに取り組んで参りました。

このような活動の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は560億2百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益6億43百万円（前年同期比2.6%増）、四半期純利益は4億49百万円（前年同期比304.9%増）となりました。

なお、当社は、6月26日付で普通株式の東京証券取引所第一部における上場を廃止し、7月1日に関東圏及び東海地方のコカ・コーラボトラー4社（コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社、東京コカ・コーラボトリング株式会社、利根コカ・コーラボトリング株式会社及び当社）が経営統合し、「飲料の新しい世界を創る」をビジョンとする、コカ・コーライーストジャパン株式会社を共通の持株会社とする体制へ移行いたしました。この統合により当社は、統合シナジーの発揮と持続的成長によりすべてのステークホルダーの皆様に貢献する企業体を目指して参ります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて18億29百万円減少し346億22百万円となりました。これは、主として関係会社短期貸付金が50億円、現金及び預金が25億69百万円増加した一方で、預け金が100億円減少したことなどによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて20億32百万円増加し466億13百万円となりました。これは主に有形固定資産が17億30百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は前連結会計年度末に比べて1億19百万円増加し131億99百万円となりました。これは、主として買掛金が17億21百万円増加した一方で、未払法人税等が10億69百万円、未払費用が5億6百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて22百万円増加し20億68百万円となりました。これは従業員長期未払金が35百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末に比べて60百万円増加し659億67百万円となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が1億97百万円増加した一方で、利益剰余金が1億29百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ25億69百万円増加し122億31百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローについては、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは18億57百万円の収入となりました。これは、主として減価償却費25億円の収入の一方、法人税等の支払額11億97百万円の支出によるものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間と比較すると12億22百万円（前年同期比192.6%）の収入増となりました。これは仕入債務の増加が主要因となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは13億74百万円の収入となりました。これは、主として預け金の回収による収入100億円の一方で、固定資産の取得による支出42億85百万円、貸付金の増加による支出49億9百万円によるものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間と比較すると、71億38百万円の収入増となりました。これは預け金の回収による収入が主要因となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは6億62百万円の支出となりました。これは、主として配当金の支払額5億79百万円によるものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間と比較すると、40百万円（前年同期比5.7%）の支出減となりました。これはリース債務の返済による支出の減少が主要因となっております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,783	12,352
受取手形及び売掛金	7,751	8,578
有価証券	500	—
商品及び製品	4,964	4,708
原材料及び貯蔵品	182	182
関係会社短期貸付金	—	5,000
未収入金	1,961	2,228
預け金	10,000	—
その他	1,316	1,581
貸倒引当金	△6	△8
流動資産合計	36,452	34,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,288	11,581
機械装置及び運搬具(純額)	1,385	1,390
販売機器(純額)	8,957	9,865
土地	10,359	10,359
その他(純額)	1,684	1,208
有形固定資産合計	32,674	34,405
無形固定資産	713	766
投資その他の資産		
投資有価証券	8,265	8,703
その他	3,027	2,870
貸倒引当金	△65	△133
投資損失引当金	△34	—
投資その他の資産合計	11,192	11,441
固定資産合計	44,580	46,613
資産合計	81,033	81,236

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,509	7,230
未払費用	4,087	3,580
未払法人税等	1,238	169
賞与引当金	546	200
役員賞与引当金	46	27
その他	1,652	1,991
流動負債合計	13,080	13,199
固定負債		
役員退職引当金	2	2
リース債務	315	265
従業員長期未払金	1,016	1,051
資産除去債務	582	580
その他	129	169
固定負債合計	2,045	2,068
負債合計	15,126	15,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,407	5,407
資本剰余金	5,357	5,357
利益剰余金	60,819	60,689
自己株式	△5,760	△5,760
株主資本合計	65,824	65,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73	271
繰延ヘッジ損益	9	2
その他の包括利益累計額合計	82	273
純資産合計	65,907	65,967
負債純資産合計	81,033	81,236

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	56,671	56,002
売上原価	34,766	33,976
売上総利益	21,905	22,025
販売費及び一般管理費	21,277	21,381
営業利益	627	643
営業外収益		
受取利息	69	53
受取配当金	38	48
持分法による投資利益	—	158
雑収入	47	92
営業外収益合計	154	353
営業外費用		
支払利息	20	15
貸倒引当金繰入額	—	64
固定資産処分損	120	131
持分法による投資損失	142	—
雑損失	31	10
営業外費用合計	315	222
経常利益	467	774
特別利益		
投資有価証券売却益	—	11
特別利益合計	—	11
特別損失		
固定資産除却損	49	30
減損損失	3	—
投資有価証券評価損	15	0
特別損失合計	69	30
税金等調整前四半期純利益	398	755
法人税、住民税及び事業税	155	136
法人税等調整額	132	168
法人税等合計	287	305
少数株主損益調整前四半期純利益	111	449
四半期純利益	111	449

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	111	449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64	197
繰延ヘッジ損益	△10	△6
その他の包括利益合計	54	190
四半期包括利益	165	640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165	640
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	398	755
減価償却費	2,515	2,500
減損損失	3	—
為替差損益(△は益)	△1	△67
固定資産処分損益(△は益)	170	161
役員退職引当金の増減額(△は減少)	—	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	69
賞与引当金の増減額(△は減少)	△347	△345
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△11
投資有価証券評価損益(△は益)	15	0
受取利息及び受取配当金	△107	△102
支払利息	20	15
持分法による投資損益(△は益)	142	△158
長期未払金の増減額(△は減少)	△0	2
従業員長期未払金の増減額(△は減少)	9	35
売上債権の増減額(△は増加)	△431	△827
たな卸資産の増減額(△は増加)	172	256
前渡金の増減額(△は増加)	2	△7
仕入債務の増減額(△は減少)	58	1,721
その他	△915	△1,041
小計	1,694	2,957
利息及び配当金の受取額	115	113
利息の支払額	△20	△15
法人税等の支払額	△1,154	△1,197
営業活動によるキャッシュ・フロー	634	1,857
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預け金の回収による収入	—	10,000
固定資産の取得による支出	△6,014	△4,285
固定資産の売却による収入	6	62
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△503	△9
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	502	515
収用補償金の受取による収入	214	—
貸付金の増減額(△は増加)	10	△4,909
その他	19	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,763	1,374
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△123	△83
配当金の支払額	△579	△579
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△702	△662
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,831	2,569
現金及び現金同等物の期首残高	13,062	9,662
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,231	12,231

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、清涼飲料の製造・販売を主な事業内容としており、報告セグメントは清涼飲料事業の単一セグメントとなっております。また、その他の事業の重要性が乏しいためセグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) その他の注記情報

(重要な後発事象)

株式交換契約に伴う完全子会社化

当社とコカ・コーライーストジャパン株式会社は、平成25年3月26日開催の定時株主総会において承認された株式交換契約書に基づき、平成25年7月1日に株式交換を実施し、当社は同社の完全子会社となりました。